

2006年 10月5日

校長のお話

南部小校長 安食

1 学校の自慢

- (1) 笑顔いっぱい花いっぱい、さわやかなあいさつのできる子ども達
- (2) 歴史や文化が深く、伝統を重んじ、地域や保護者が協力的
- (3) ビオトープがあり、広い校地や設備や環境の整った学校
- (4) 心優しく、言葉を大切にし、俳句の上手な子ども達
- (5) スポーツが盛んで、活力のある子ども達
- (6) 教え合い、ねらいを持って学習に取り組む子ども達

2 祖父母さんに教えていただきたいこと

方言、昔の歌（ふるさと、早春賦）昔の言葉、
礼儀作法（箸の持ち方 つかい方）困ったときの対処の方法
友達との付き合い方、いやな人の付き合い方、
大成功の話、大失敗の話

3 家庭で主体的な子供を育て

判断の基準は、「いい・悪い」だけではない。

- 「好ましいか、好ましくないか。」
- 「適しているか適していないか。」
- 「喜べるか、喜べないか。」
- 「楽しいか楽しくないか。」など、



4 「いのちの教育の3つの柱」 (1) 自分を大切に思える気持ち（自尊感情）を育てる (2) いのちのつながりと多様性に気づかせる (3) いのちの尊さと人間としての生き方をしっかり教える

「いのちには」 (1)受け継いでいく「いのち」 (未来) 性教育
(2)支えられている「いのち」 (現在) 環境
(3)受け継がれてきた「いのち」 (過去) 遺伝子

5 子どもとの接し方

小善は大悪に似たり、大善は非情に似たり Cruel to be kind

小善とは、甘やかし迎合すること。それは大きな悪と似て、子どもをだめにしてしまう。

大善とは、信念と規律をもって、長い目で子どもを育てる。厳しく見えるが実は子どものためである。